

# 共同研究 「ニュータウンの未来像」 活動報告

西川 祐子・三林 真弓

本共同研究は、本大学に隣接するグリーンタウン横島、向島ニュータウンを主に調査と研究の対象として、ニュータウンが現在直面している様々な課題を明らかにするとともに、ニュータウンがこれからどこへ向おうとしているか、を探ることを目的にして2003年度より3年計画で発足した。本年度はその第3年目、つまり最終年度にあたる。

第1年度の研究課題は、ニュータウンをどう「ひらくか」であり、シンポジウム「集まって暮らす―ジェンダーをひらこう」をもってしめくくりとした。第2年度には「つなぐ」のキーワードがうまれ、公開講演会「個をつなぐ住まい―“住む”側の実験と“建てる”側の実験」を開催した。第3年の今年は「そだてる」をキーワードにして、公開シンポジウム「ニュータウンで育てる／ニュータウンを育てる」の企画を実現させるべく、下記のように研究会、見学会、打ち合わせ会を重ね、このシンポジウム開催の記録をもって3年におよんだ共同研究のしめくくりとした。

第1回研究会 2005年6月30日

於 本学F232

発表：佐藤知久「住宅の集まり方：ニューヨーク市集合住宅のかたち」

臨時打ち合わせ会：「12月シンポジウム企画について」

於 本学F232

第2回研究会 2005年10月14日

於 本学F232

発表：石川真作「外国人集住都市におけるニュータウンの諸相―愛知県豊田市H団地における『共生』の模索」

第3回研究会：2005年11月4日

於 京都市崇仁地区

崇仁地区まちづくり見学会

「崇仁地区の新しいまちづくりの現状視察―竹口さんと崇仁を歩こう」

公開シンポジウム「ニュータウンで育てる／ニュータウンを育てる」

協賛：科研共同研究「ニュータウン・大規模団地の地域住環境における中間集団の役割と可能性」（B17300232：日本女子大学）：2005年12月17日

於 本学G103、G104

イベント「ダンボールでオウチをつくろう！フィンランドのレイキモッキ」「ニュータウンの絵はがき」「喫茶ハグクミ」などもあって、多数の住人参加があり、シンポジウムの討論は盛り上がった。

最終研究会：2006年1月26日

於 本学F232

総括的な議論を行い、12月のシンポジウムの記録を3年間の共同研究のしめくくりとして、本誌に掲載することなどを申し合わせた。